

令和7年度

公共事業評価に係る意見について

評価対象事業

北九州市立大学新学部開設事業

北九州市公共事業評価に関する検討会議

令和7年8月12日

1 対象事業

事業名	事業箇所	事業費（市負担額）	事業期間
北九州市立大学新学部 開設事業	小倉北区 魚町四丁目	1,572百万円	令和6～ 9年度

北九州市立大学（以下、「大学」）では、国のデジタル・グリーン等の高度専門人材の育成や市内企業のニーズなどを踏まえ、情報工学の先端技術を駆使し、DXの推進や社会課題解決に寄与する高度デジタル人材の育成などを目的として、新学部を設置することとしている。新学部の建物は、旦過地区土地地区画整理事業地内に大学と旦過総合管理運株式会社が共同で建設するものである。

新学部の開設により、高度なデジタル人材の育成はもとより、そういった人材の供給による市内企業の成長、北九州市・新ビジョンで掲げる「彩りあるまち」の実現やまちの賑わいづくりなどにも寄与することが期待される。

2 事業の進め方についての意見

「北九州市立大学新学部開設事業」を本計画どおり進めていくことについて、すべての構成員が「異論はない」との意見であった。

3 構成員の主な意見

事業の推進にあたっては、下記の意見があった。

（1）旦過市場の雰囲気への配慮について

北九州市の財産である旦過市場の雰囲気が守られるように、事業を進めていただきたい。

（2）大学の自主財源の確保について

企業版ふるさと納税制度などを含め、市も大学と一緒に、大学の自主財源の確保に努めていただきたい。

（3）事業費の増額への対応について

資材価格等の高騰が続いており、事業費増の可能性が高いことを念頭に置いて対応を考えていただきたい。

（4）建物完成後の維持管理に対する工夫について

敷地が狭いことから、完成後の改修・修繕工事を踏まえ、市場と調整のうえ、適切な維持管理ができるよう工夫していただきたい。

（5）学生の駐輪場の確保について

大学と相談のうえ、学生用の駐輪場の確保を検討していただきたい。

4 北九州市公共事業評価に関する検討会議 構成員

(五十音順、敬称略)

氏名	役職等
さいとう ゆりえ 齊藤 由里恵	学校法人梅村学園中京大学 経済学部 准教授
たなか やすこ 田中 康子	株式会社大屋設計 執行役員 所長
はらだ みどり 原田 緑	北九州商工会議所 女性会 副会長
もりなが けい 森永 啓	株式会社日本政策投資銀行 九州支店 企画調査課長
よしただ てつお 吉武 哲信	国立大学法人九州工業大学大学院 工学研究院 教授